

TOTO

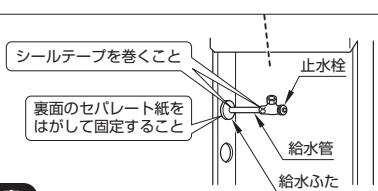
手洗器付トイレキャビネット

YSC46SX(ハンドル式水栓) YSC46AX(オートストップ水栓)

取り付け方法(つづき)

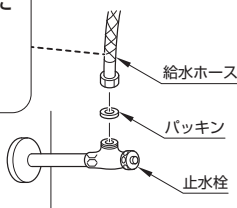
2 止水栓の取り付け

- ① 給水管と止水栓を図のように取り付けてください。
※給水管に付属の給水ふたを入れ、接続してください。



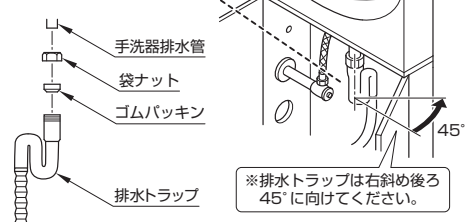
注意
シールテープを必ず巻くこと
水漏れして、家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。

- ② 給水ホースを止水栓に取り付けてください。
※パッキンを必ず入れてください。



3 排水トラップの取り付け

- ① 排水トラップと手洗器排水管を図のように取り付けてください。

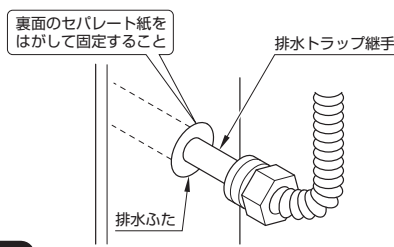


水漏れの確認

- 各接続部から水漏れなどの異常がないことを確認してください。
- 吐水量の調節
【ハンドル式水栓の場合】
•ハンドルを全開にし、吐水量が5L/min程度になるように止水栓を回して吐水量を調節してください。
※約200mlの容器(牛乳ビン等)が2~3秒でいっぱいになるのを目安にしてください。
- 【オートストップ水栓の場合】
•取り付け当初、吐水時間は長め、吐水量は多めにありますが、数回の水出し操作で正常になります。
•吐水時間・吐水量のご確認は数回の水出し操作後行なってください。
•調節が必要な場合、お客様にご確認のうえ、取扱説明書をご覧ください。

排水トラップの取り付け(つづき)

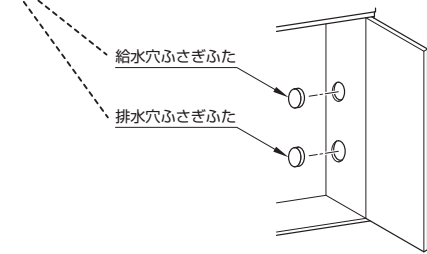
※排水管(VP25エルボ又はソケット)の内側に接着剤を塗布する。排水トラップ継手に排水ふたを入れて、排水トラップ継手を差し込んでください。



注意
排水管の内側に接着剤を塗布する
水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。

4 給排水ふさぎふたの取り付け

- ① キャビネット内の使用しない側の給水穴、排水穴を付属の給排水穴ふさぎふたでそれぞれをふさいでください。



5 仕上げ

- ① 製品と壁の間を、コーキングなどで仕上げてください。

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容にそって正しく取り付けしてください。
取り付け後は、お客様にご使用方法を十分に説明ください。
商品にはお客様用として、取扱説明書が同梱されています。工事完了後は必ずお客様へお渡しください。
取扱説明書に付属の保証書には、店名およびお取付日を必ず記入してください。

安全に関するご注意

お取り付け、ご使用前にこの「安全に関するご注意」をよくお読みの上、正しくお取り付け、お使いください。
この説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味はつぎのようになっています。

- 警告** 誤った取り扱いをすると、「死亡又は重傷を負う可能性が想定される」内容です。
- 注意** 誤った取り扱いをすると、「人が傷害を負う可能性及び物的損害の発生が想定される」内容です。
- 禁止** してはいけない「禁止」の内容です。
- 必ず守る** 必ず実行していただく「強制」の内容です。

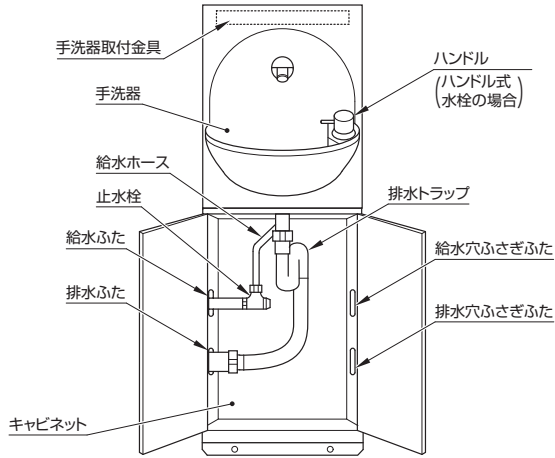
水場使用禁止	浴室など水がかかったり湿気の多い場所には設置しない 製品本体・ねじ類の腐食により、落下してけがやときに死亡の原因となります。
警告	給水位置や露出された排水管の真下部に電源コンセントを設置したり、ウォシュレット用の給水ホースと電源プラグ・コンセントを接触させない 結露水などにより、電源コンセントに水がかかり、火災や感電の原因となります。
禁止	屋外および傾斜のあるような壁面、振動の激しい場所には取り付けない 水道水および飲用可能な井戸水(地下水)以外は使用しない 器具取付用のねじ固定部の壁裏には、配管・配線をしていない 火災や感電の原因となります。水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。
必ず守る	柱・間柱は腐食などで強度不足でないことを確認する 取付物の転倒、落下によりけがやときに死亡の原因となります。

禁止	製品に強い力や衝撃を与えない 製品が破損し、故障の原因となります。 水漏れして、家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。	給水ホースを無理に折り曲げたり、たばこの火やカッターなどで、傷つけない 給水ホースが破損し、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。
注意	キャビネットは壁への固定が完了するまで、十分注意する 倒れやすく、けがの原因となります。	工事完了後、キャビネットの固定にがたつき・扉の傾き・丁番のゆるみがないか確認する 倒れやすく、けがの原因となります。
必ず守る	工事完了後、給排水管から水漏れがないか確認する 家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。	凍結のおそれがある地域では、凍結防止工事を行う 凍結すると器具の一部が破損し、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。
設置工事に使用する部材は必ず付属部品および指定部品を使用する 取り付けが不安定になり、使用中に落下してけがの原因となります。 水漏れして、家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。		

使用上の おねがい

給水圧力は最低必要水圧0.05MPa(流動時)最高水圧0.75MPa(静止時)です。
この圧力範囲でご使用ください。
給水は、上水道に接続してください。
中水道及び異物を多く含む水には使用できません。
施工が終わったら必ず各接続部から水漏れのないことを確認してください。

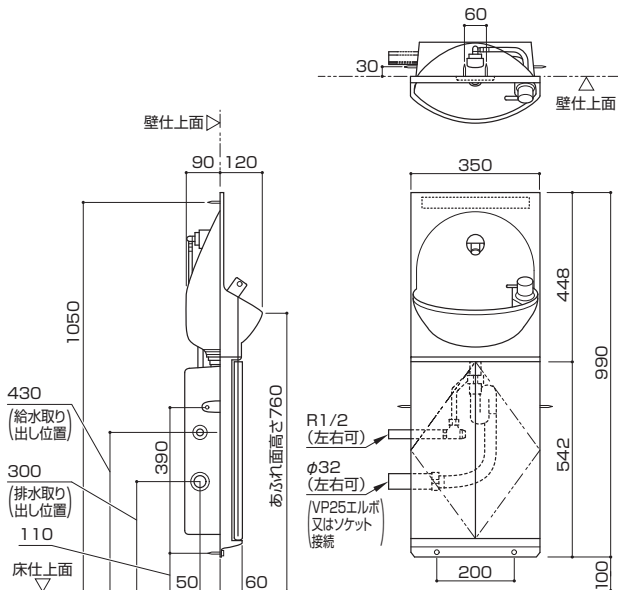
各部のなまえ



商品寸法

※給排水の取り出しは左右選択可能です。
(図は左側取り出しの場合)

※図のハンドルはハンドル式水栓の場合です。



付属品品の確認

● 次の部品があることを確認してください。

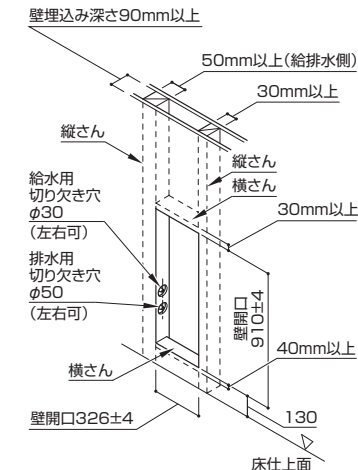
付属品	
壁固定ねじ (なべ頭タッピン) ねじ φ4×30	・ 手洗器取付金具用 3本 ・ キャビネット固定用 4本
手洗器取付金具	1個
排水トラップ	1個
給排水ふた	各1枚
給排水穴ふさぎふた	各1枚
止水栓	1個
給水ホース	1本

オートストップ水栓の場合の付属品

六角レンチ (対辺4mm) (ハンドル着脱用)	1本
----------------------------	----

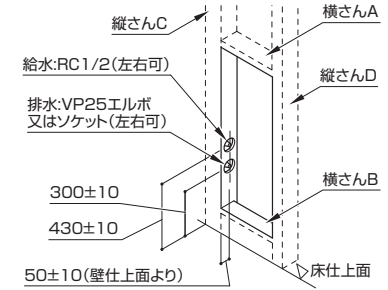
取り付け前の準備

- 製品取り付けのねじ固定用として、図のような縦さん・横さんが必要です。壁仕上げ前にあらかじめ設けておいてください。
- 製品取り付けの壁開口は図の寸法で設けてください。
※壁埋込み深さは90mm以上必要です。



取り付け前の準備(つづき)

- 給排水は下図の寸法で取り出してください。(縦さん内側)
※給排水の取出位置は下図に示す公差に納めてください。
- ※給排水の取り出しは左右選択可能です。
(図は左側取り出しの場合)



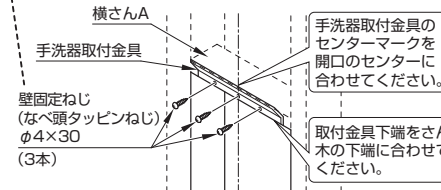
取り付け方法

1 キャビネットと手洗器の取り付け

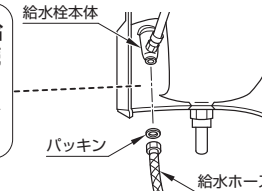
警告

手洗器取付金具、キャビネットは確実に
さん木に固定する
固定が不完全な場合、手洗器やキャビネットがたおれ、
けがや重大事故の原因となります。

① 手洗器取付金具を横さんAに付属の
ねじで固定してください。



② 給水栓本体に給水ホースを接続
してください。
※パッキンを必ず
入れてください。



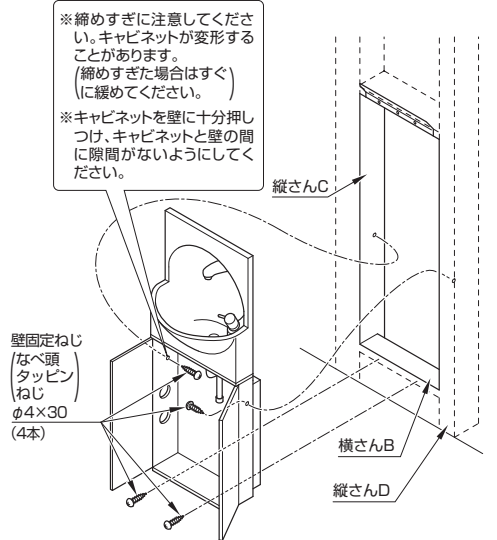
③ キャビネットの凸部を手洗器の穴に差し込んで
ください。
※給水ホースと排水金具を
キャビネット上部の穴に
通してください。
※壁内に埋込まれる給水栓
本体及び給水ホースの防
露対策を必要に応じて行
ってください。



注意

キャビネット凸部を手洗器の穴に差し込んだ
状態で移動させる場合は、キャビネットを
持って移動させる
キャビネット凸部が破損し固定が不安定となり、手洗器
やキャビネットがたおれ、けがの原因となります。

④ 手洗器を手洗器取付金具に引掛け、キャビネット
を縦さんC・Dと横さんBに付属のねじで固定
してください。
※手洗器が手洗器取付金具に確実に掛かっている
ことを確認してください。



注意

手洗器を引掛ける際には、キャビネットを持ち
上げて掛ける
手洗器のみを持ち上げると、破損することがあります。